

## 第 10 回 FEIAP EXCO Meeting (理事会) 参加報告

### 1. 概要

日時：平成 30 年 11 月 14 日 (水)  
場所：シンガポール セントサ島 Resort World Sentosa  
参加者：稲垣正晴

### 2. EXCO Meeting 主たる議事内容 (11 月 14 日)

2.1 開会の挨拶： FEIAP President Mr. John Li (台湾)

2.2 議事録の承認 (第 9 回 FEIAP EXCO meeting、2017 年 11 月 18 日、タイ・バンコック市)

#### 2.3 最新事項

(1) 現会員：25 エコノミー (正会員)、2 エコノミー (Associate 会員)

組織名	エコノミー名	組織名	エコノミー名	組織名	エコノミー名	組織名	エコノミー名
EA	オーストラリア	IPEPNG	パプアニューギニア	IEB	バングラデシュ	KIVI	オランダ
CAST	中国	PTC	フィリピン	PEC	パキスタン	NEA	ネパール
HKIE	香港	EIT	タイ	CIP	ペルー	IER	ルワンダ
PII	インドネシア	IES	シンガポール	ANETL	東ティモール	IEU	イラク
IPEJ	日本	CIE	台湾	AAES	アメリカ	MES	マレーシア (As)
KPEA	韓国	MES	ミャンマー	IESL	スリランカ	TAM	ミャンマー (As)
IEM	マレーシア	IEI	インド	COREN	ナイジェリア		(As) : Associate member

(注1) スリランカとペルーは会費不払いにより、メンバー削除手続き開始

(注2) IEET (台湾) は、IEET の意思により、加入 Pending 中

(2) FEIAP の法規とガイドラインの改正版は、FEIAP Website に Update された

(3) 新会員動向

組織名	エコノミー名	世話役エコノミー	現況
IEET	台湾	CIE	Associate Member
	中央アジア	パキスタン	パキスタンが招請中
	トルコ	FEIAP	FEIAP事務局が招請中。現在回答なし。
	ブータン	インド	PE組織設立後、加入考慮。活動停止中。
IPENZ	ニュージーランド	EA	再加入招請中
	フィジー		
	モンゴル	FEIAP	中国が入会招請中。回答なし。
VUSTA	ベトナム	FEIAP	PE組織設立後、加入考慮。活動停止中。
USEA	ロシア	FEIAP	FEIAP事務局が招請中

## 2.4 Standing Committee

### (1) Environment Engineering (座長 : Er. Chong Kee Sen, IES)

進捗状況は以下の通り。

- ① Green Product Listing Website へ掲載するテンプレートを作成する必要がある。
- ② FEIAP Infrastructure Sustainability Guideline の開発  
EA の Douglas Hargreaves 教授が、ガイドラインを開発し、Website に Upload した
- ③ FEIAP ABC Water Professional Training Programme  
掲題の 3 日間コースが、2018 年 11 月 7-9 日に実施された。

### (2) Engineering Education

- ① エンジニアリング教育と Accreditation のためのガイドライン (エンジニア用、エンジニアリング Technologist 用、エンジニアリング Technician 用) が承認され、2019 年西安で開催される総会 (GA) で配布される。
- ② FEIAP の大学及び Accreditation プログラムのリスティング  
PTC、EA、IEM が情報提供した
- ③ ミヤンマーの Mentoring  
IEM を中心とする Mentor チームが、ミヤンマーの Engineering Accreditation System 構築の Mentor を行った。2019 年に、その system を通した最初の卒業生が出るので、IES と PEC が再度ミヤンマーを訪問して、状況確認する。

### (3) Information and communication technologies

GA の全内容と写真が Website に Upload された。

### (4) Disaster Prevention

マニュアルを 2 年以内に完成させる必要があるが、動きが遅い。次回 GA のときに、災害後の対策がどのように行われたかを報告してほしい。

### (5) Young Engineers Development Working Group

第 25 回 GA で、YEDWG が発足した。その後、各エコノミーの担当者を決め、WG の連絡情報を伝えた。今回の EXCO で、先ず、マレーシア、台湾、フィリピン、日本の 4 か国で活動を始めることになった。これは、2018 年 3 月に行われたマレーシアと台湾の 2 か国交流が基礎となっている。

## 2.5 会計報告 (2018 年 10 月 31 日現在)

2018 年 1 月 1 日から 10 月 31 日までの会計報告 収入 42,460 RM、支出 11,532

## 2.6 その他特記事項

- (1) 第 27 回 FEIAP GA、及び第 5 回 FEIAP Convention は、2019 年 6 月 28~30 日に中国・西安で開催される。一带一路を基礎に置いた Convention も行われる。また、西安に

設立された教育センターは、エンジニア自体の教育ではなく、Accreditation や Mentoring に関する教育を目的としており、FEIAP 活動の強力な推進機関となる可能性がある。この教育センターも一帯一路を基礎に置いて活動している。

(2) 第 11 回 EXCO Meeting は、CAFEO37 とは別日程で、2019 年 11 月 20～22 日にオーストラリア・メルボルンで開催される WEC 会議に連結して、同メルボルンで開催される。詳細日程は、改めて決定される。

(3) CAFEO37 は、2019 年 9 月にインドネシアで開催される

(4) WFEO 日程

2019	メルボルン (オーストラリア)	2020	キガリ (ルワンダ)
2021	ドーハ (サウジアラビア)	2022	サンホセ (コスタリカ)

## 2.7 所感

FEIAP が最も力を入れているのは教育である。教育には、エンジニアの教育とエンジニアの卵の教育の 2 つが考えられるが、FEIAP の目指すのは、後者の方である。現在 WA をクリアしているのは、マレーシアとシンガポールのみである。東南アジア諸国の教育レベル向上に関するこの 2 か国の貢献は著しい。しかしながら、規模がせいぜい個人レベルの協力であり、その点中国の西安に設立された教育センターは組織的で規模も大きく、経済的にも国家の援助を受けていることから、周辺国に大いに歓迎される要素を持っている。中国は一帯一路を国是として、あらゆる分野の基礎にこれを置く傾向がある。2019 年西安で開かれる FEIAP GA (総会) でも、同時に催される Convention の基本テーマは一帯一路である。長い目で見て、エンジニアリングの世界でも主導的な立場に立ちたいという意図を強く感じる。IPEJ は教育には絡んでいないが、教育は基本であるから、エンジニアリングに大きな影響を及ぼす。したがって、2019 年の FEIAP GA にはぜひ参加して、教育センターの役割についても研究する必要があるものと考えている。

以上